

# 横浜会議 からの報告

## 神奈川県

### 新エネルギー

#### 導入状況調査

#### はじめに

特定非営利活動法人NPOブルーアースは、平成15年企業に長年勤めていた技術者を中心に誕生しました。環境、エネルギー問題等私達の住む地球をめぐる問題は山積されており、これら問題に、長年培ってきた知恵と知識と経験を寄せ合って、青いきれいな地球回帰を目指して微力ながら取り組んでおります。その活動の一端を紹介させて

#### NPOブルーアースと 新エネルギー

いただきます。

NPOブルーアース創立後最初の活動は、福島県矢祭町の「新エネルギービジョン策定等事業」のコンサルティングでした。NEDOが助成する新エネルギービジョン策定に、メンバーの中に新エネルギービジョン策定のコンサルティング経験者があり、町出身者が働きかけて委託されたもので

執筆

持田 典秋

特定非営利活動法人 NPOブルーアース

す。そこは山野が75%を占める町のため、メンバーの4人が現地入りし、町の中を、あるいは山に張り巡らされた林道を車で走り回り、調査、聞き込み、アンケートなど、十分に足と時間をかけて調査活動をし、成果の報告書を作成しました。

#### 平成17年度「NPO等による 県の事業評価」への参加

県のホームページに紹介された「NPO等による県の事業評価」の募集を知り、「地域新エネルギー普及啓発事業」評価に応募し採択されました。

テーマは、新エネルギーの導入や省エネルギーの実践方法を普及啓発するために、市民団体や企業と協調して開催しているイベント「エコタウンかながわ2005」の評価で、担当部署は環境農政部署で、担当課でした。私達はここでも、技術者出身の利点を生かし、十分に整理されていなかった県のデータの整理統合やまとめ方など、企業の研究開発や設計の

仕事で日常なされている手法を使い、他の団体に先駆け、より短時間で効率的に報告することができました。

この時の調査から神奈川県の新エネルギー導入の取組みが、全国から見ると比較的遅れているのではないかと気付きました。また、県のホームページを検索する機会が増えましたが、「神奈川県の新エネルギーへの取組み」の「神奈川県新エネルギーマップ」はいつも工事中でした。

#### 「かながわ新エネルギー&再生 可能エネルギーマップ」の作成

平成18年のNPOブルーアースの活動テーマの一つとして「かながわ新エネルギー&再生可能エネルギーマップ」を作成を取り上げました。新エネルギーに再生可能エネルギーを加えたのは、国の新エネルギーの定義に水力発電が含まれていないため、それも加えておきたいとの考えからです。

最初は図書館に行ったり、過去の新聞記事を整理したりと、闇雲に情報収集に努めました。なかなかデータは集まりません。そこでNEDOに行き、全国と関東圏の新エネルギーマップを入手しまし

た。関東圏はやはり詳細まで行き届くようにはなっていない。まず、その中の神奈川のデータを補完する形で整理し、NEDOの関与していない新エネルギーのデータも集めるように注力しました。ここではインターネットがずいぶん活躍しました。企業のホームページ、自治体のホームページはずいぶん手助けをしてくれました。さらに、テレビニュースや新聞記事をもとにそれを裏付けることも行いました。

また、県下全市町村のホームページから、「総合計画」「環境基本計画」「環境基本条例」などを見て、各自治体の新エネルギー政策を把握しました。それぞれの市町村は、皆立派な方針を打ち出し、実施していますが、設備の導入ははかばかしくありません。データ集めの次は、いよいよマップの作成です。

市町村別の新エネルギーマップの作成に必要な統一形式での地図を書店や、地図専門店、あるいはインターネットなどで探しましたが、適当なものがなく、いったんは当該市町村地図ごとに新エネルギーマークを貼り付けることを断念しました。しかし、インターネットで神奈川県地図

に当該市町村の位置を示す地図が見つかり、これをもとにし市町村別の新エネルギーマップができ上がりました。また、タイムリーなデータの更新を考えホームページ上に公開することがベターと考えました。そこで、NEDOに新エネルギーのマーク使用の許可を、地図会社には地図の使用許可を費やしました。

このようにして、ひとまず私達の「かながわ新エネルギー&再生可能エネルギーマップ」ができ上がりました。図にその表紙を載せてあります。まだまだでき上がったばかりで、おそらく記載ミスや勘違い、あるいはダブルカウントなどのチェックは不十分です。これを各市町村にお知らせして、そこでの厳しいチェックでなるべく完璧を期そうと願っております。

神奈川県の新エネルギー設備の普及状況は、必ずしも十分とはいえません。表に全国と神奈川県の普及状況を比較して記載してあります。全国の数値は資源エネルギー庁のホームページから引用しました。神奈川県の数値は、以前に制定された「神奈川新エネルギービジョン」からの引用です。

## 「神奈川新エネルギーマップ」の情報発信と今後の活用方法

私達はこの成果を、NPOブルーアースのホームページ <http://npo-blueearth.org> に「かながわ新エネルギー&再生可能エネルギーマップ(2007年版)」を掲載しました。

その作成の狙いとして最初のページに、つぎのように記載しました。「異常気象、地球温暖化、原油高騰、資源枯渇、さまざまな私達の地球を取り巻くエネルギー問題がクローズアップされてきました。今後私達が活用するエネルギーは、まだ経済性や技術的問題を抱えているものの、新エネルギーに向かうことが確実です。身近なところで、神奈川県ではどのような新エネルギーを活用しているのでしょうか。そんな疑問からインターネットや文獻、新聞記事などを調べてまとめたのがこのマップ

です。このマップが新エネルギーの普及啓発に役立つのであれば、編纂者にとって大きな喜びであります。苦心して作成したマップです。今後はこれを外に對して情報発信をしていきたいと思えます。まず、神奈川県にこれを活用すべく、働きかけ、県のホームページ「新エネルギーへの取り組み」<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kankyokeikaku/energy/index.htm>にリンクを張ってもらうことができました。マップからさらに一歩踏み込んで、実勢の発電や熱利用がどうなっているかも追跡調査すべきことです。次に、応用編です。このマ

図 かながわ新エネルギー&再生可能エネルギーマップ表紙

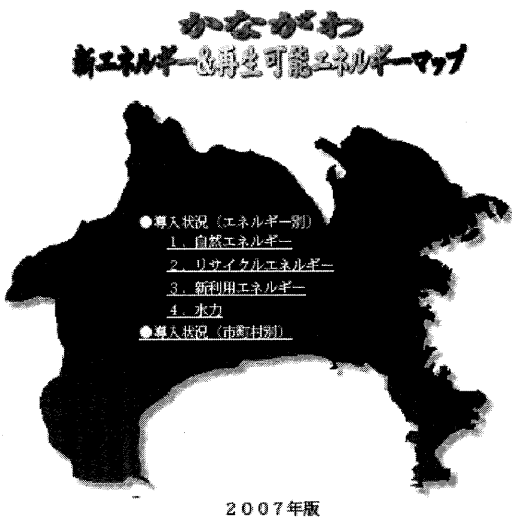


表 新エネルギー導入実績と導入目標 (全国と神奈川県)

供給サイドの新エネルギー	種類	全国			神奈川県
		2001年度	2003年度	2010年度目標	2001年度
発電分野	太陽光発電	11.0万kl (45.2kW)	21.0万kl (85.0万kW)	118万kl (482万kW)	0.17万kl (0.71万kW)
	風力発電	12.7万kl (31.2万kW)	27.6万kl (67.8万kW)	134万kl (300万kW)	0.04万kl (0.08万kW)
	廃棄物発電+バイオマス発電		213.7万kl (173.9万kW)	586万kl (450万kW)	16.52kl (12.64kW)
熱利用分野	太陽熱利用	12.7万kl	59万kl	90万kl	0.75万kl
	廃棄物熱利用	129.5万kl	151万kl	185万kl	6.76万kl
	バイオマス熱利用	4.8万kl	79.5万kl	308万kl	0.06万kl
	未利用エネルギー	4.4万kl	4.2万kl	5万kl	3.46万kl
	黒液・廃材等	446.0万kl	478万kl	483万kl	0
	合計	690.4万kl	1,054万kl	1,910万kl	27.7万kl

需要サイドの新エネルギー				
クリーンエネルギー自動車		19.0万台	233万台	4,040台
天然ガスコージェネレーション		242万kW	498万kW	41.2万kW
燃料電池		0.7万kW	220万kW	0.13万kW

単位: kW 設備容量、kl 原油換算

出典: 資源エネルギー庁ホームページ、神奈川県新エネルギービジョン

## 終わりに

この仕事は、メンバーがボランティアとして多くの時間を割き、調査に行く費用もすべて手弁当で行いましたが、仕事として受託するよりも私達の思う通りに物を作り上げることができました。早くも次に何をしようか、協議が始まっています。

皆様も良いアイデアがございましたら、ぜひお知らせ願います。